PMS-1817(10060)

施工説明書

INAX

オートマージュG自動水栓
AC100Vタイプ

AM-140C(100V)型

工事店様へのお願い
貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

1.施工の前に

安全上のご注意

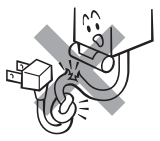
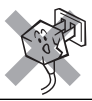
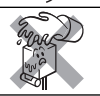
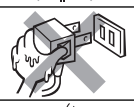
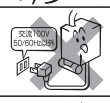
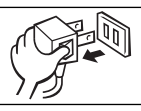
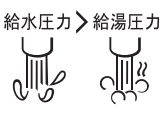
●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

警 告 …「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注 意 …「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠ …「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

…「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
…「分解してはいけません！」
…「指示通りにしなさい！」
…「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

⚠ 警 告

(禁止)	**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしないでください。** ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因になります。	
(禁止)	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの注し込みがゆるいときは使用しないでください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	
(禁止)	**水につけたり、水をかけないでください。** ※発火、ショート、感電、故障の恐れがあります。	
(禁止)	**電源プラグを濡れた手で触れないでください。** ※感電の原因となります。	
(禁止)	**交流100V(50/60Hz)以外では使用しないでください。** ※発火、ショート、感電の原因となります。	
(禁止)	**電源プラグについたホコリは、取り除いてください。** ※電源プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。	
(分解禁止)	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。** ※発火、感電したり、異常動作してケガをすることがあります。	
(指示)	**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	
(場所)	**バスルームなどの水がかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	
(指示)	**【サーモスタット付の場合】** **給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。** ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	

⚠ 注 意

(禁止)	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
(禁止)	**水道水および飲料可能な井戸水以外は使用しないでください。** ※商品の内部腐食により、発火、ショート、感電の原因となります。	
(禁止)	**トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウェットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。** ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	

本製品の仕様と条件

	単水栓
電源 主電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	待機時0.7W以下　使用時3W以下
使用圧力範囲	0.07MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水 ※1
使用環境温度範囲	0～40℃
使用環境湿度範囲	90%RH以下
適正流量範囲	3～5L/分（4L/分定流量弁内蔵）
感知方法	光量式可視光センサー
感知距離（可視光用グレーカード：100mm角）	約105mm
感知エリア幅	φ60mm以下（センサー窓より60mmの位置）
給水接続	PJ1/2
取付条件	水栓取付穴径φ25mm～38mm カウンター厚10～30mm

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

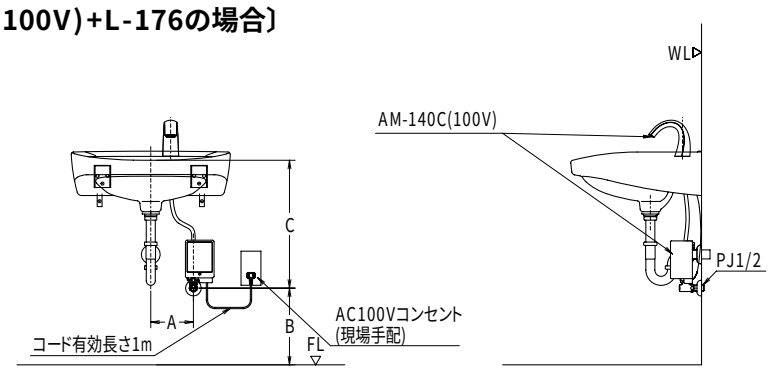
施工寸法

陶器によって取付寸法が異なります。
下表を参照のうえ、取り付けてください。

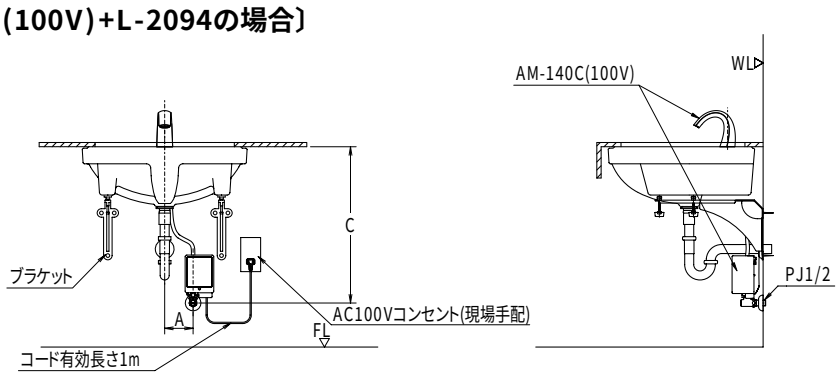
陶器の種類	ブラケット	A寸法	B寸法	C寸法
手洗器	なし	150	350	450
洗面器	なし	150	300	450
	あり	100	―	550

施工例

〔AM-140C(100V)+L-176の場合〕



〔AM-140C(100V)+L-2094の場合〕



施工前のご注意

取付けに必要な工具

●取付にはプラスドライバー、専用工具「KG-4（対辺34）」が必要です。

取付可能陶器

●水栓を取り付ける陶器が取付可能陶器であることを確認してください。
（取付可能陶器一覧表参照）
※取付可能陶器一覧表に記載されていない陶器への取付けは、誤作動することがありますので取付けできません。

株式会社 INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などでご利用になれない場合があります。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

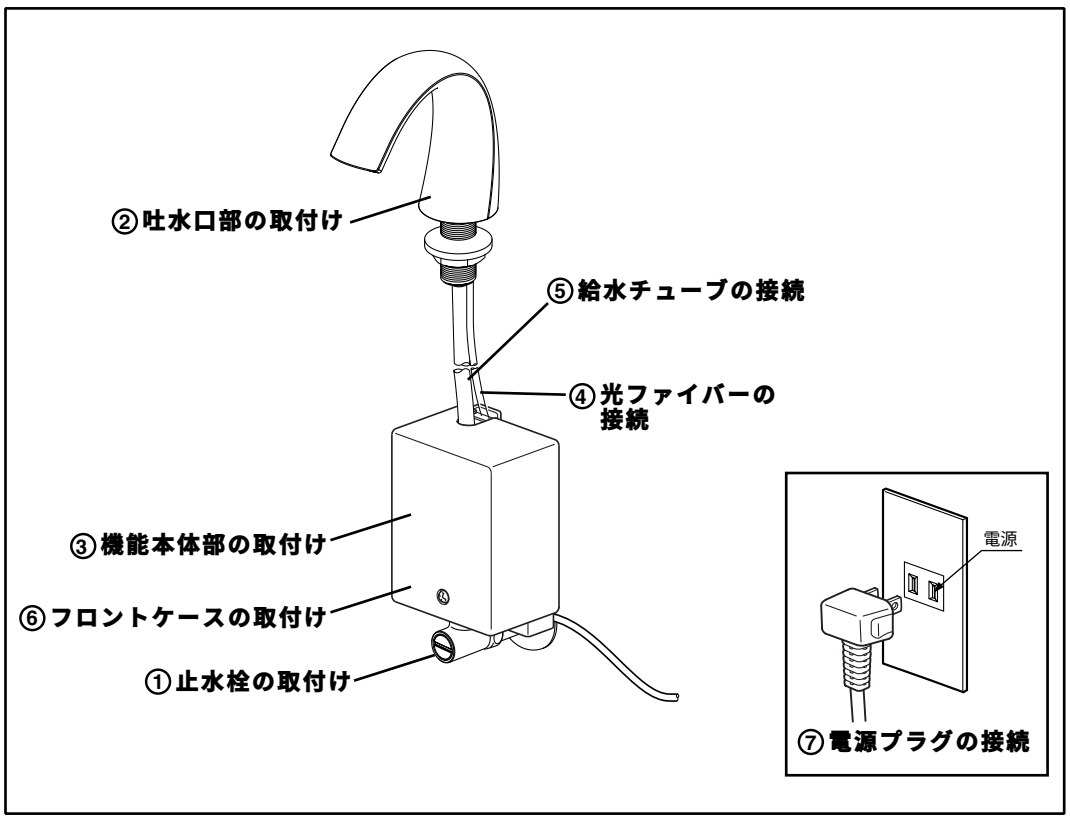
〔取付可能陶器一覧表〕

自動水栓製品品番	陶器		
	分類	品番	取付穴
AM-140C(100V)	手洗器	L-14	AN,N
		L-15	AG,G
		L-80	AG,G
		L-103	AG
	洗面器	L-132	AG,G
		L-143	AG,G
		L-176	AG,G,AN,N,AP,P
		L-275	AN,N
		L-275-H	AN,N
		L-365	APR,APRS,FCPR,FCPRS
		L-531	ANC,N
		L-536	ANC,N
		L-543	ANC
		L-546	ANC,N
		L-555	ANC,N
		L-2094	AG,G,ANC,AN,N,AP,P
		L-2149	AG,G,ANC,AN,N,AP,P,APR,APRS,FCPR,FCPRS
		L-2150	AG,G,ANC,AN,N,AP,P
		L-2160	AG,G,ANC,AN,N,AP,P
		L-2394	ANC
		L-2584	ANC
		L-2594	AG,G,ANC,AN,N,AP,P

その他の注意点

- ●給水は必ず水道水および飲料可能な井戸水としてください。中水及び異物を多く含む水は使用できません。
- ●水栓を取り付ける前に必ず**配管中の異物を完全に洗い流し**、空気を完全に抜いてください。
- ●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。
- ●機能本体部は必ず正しい向きに取り付けてください。
  ※横にしたり、逆さに取り付けますと誤作動の原因となります。
- ●電気製品ですので機能本体部に水をかけないようにご注意ください。
- ●センサーの表面を傷つけないように十分ご注意ください。
- ●水栓の機能を十分に発揮させるため、必要な場合定流量弁を取り外し、流量調節栓を絞って、流量3～5L/分程度にしてください。（「流量の調節」の項参照）
- ●インバーター照明により誤作動する場合があります。
- ●直射日光が当たらないところに設置してください。
- ●万が一の危険防止の為、電源の一次側に1ヶ所漏電遮断器を設置してください。
- ●電源線はφ1.6㎜又は2.0㎜以上のものをご使用ください。（現場手配）
- ●電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- ●水道工事と電気工事は十分工程を打ち合わせのうえ行ってください。
- ●電源コードの長さは1.2mです。コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。

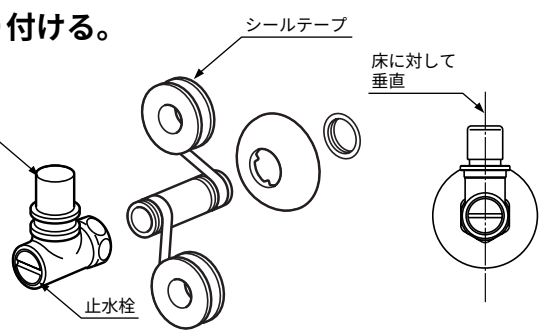
施工手順



2.施工方法

① 止水栓の取付け

1. 配管位置を確認し、止水栓を取り付ける。

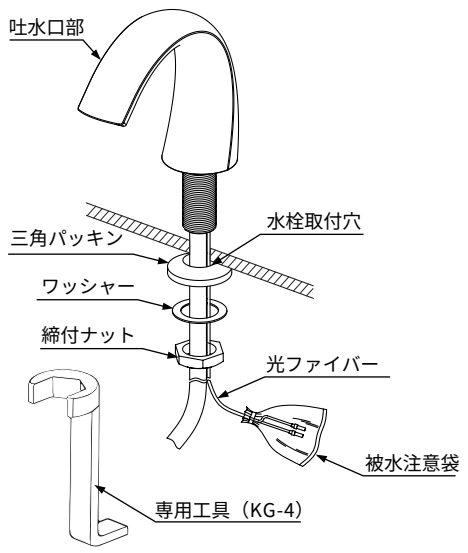


注意

キャップは機能本体部を接続するまで取り外さないでください。
※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因になります。

② 吐水口部の取付け

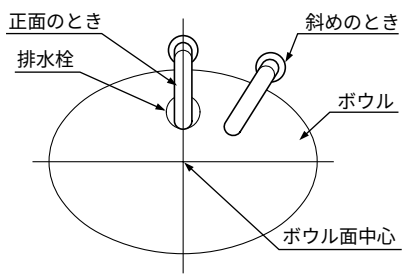
1. 吐水口部を水栓取付穴に挿入し、三角パッキン、座金、締付ナットを吐水口部に取り付け、専用工具「KG-4」を用いて仮固定する。



注意

●光ファイバーの被水注意袋は、機能本体部に接続するまで取り外さないでください。
●締付ナットを取り付ける際は光ファイバーを傷つけないように注意してください。
※光ファイバーに傷が付くと感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

2. 吐水口先端をボウルの中心に向くよう調節し、吐水口部をしっかり固定する。

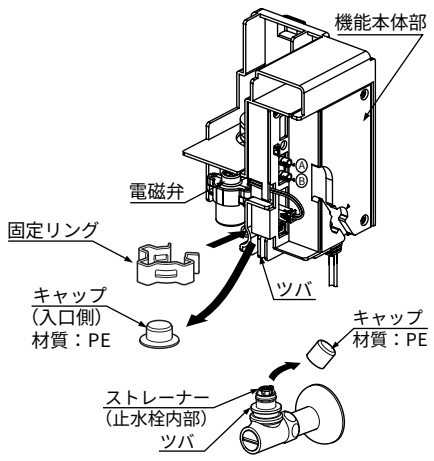


注意

●取付方向を適切な位置にしてください。
●取付可能陶器以外は取り付けないでください。
※ボウル面を感知して誤作動する恐れがあります。

③ 機能本体部の取付け

1. 止水栓のキャップと機能本体部の入口側のキャップを取り外し、機能本体部が正面を向くように止水栓のツバと機能本体部のツバが接するまで差し込む。



注意

●Oリングを傷つけたり、ゴミかみしないように行ってください。
※漏水の原因になります。
●誤ってストレーナーを外さないでください。
※ゴミが電磁弁内に入り、故障の原因になります。

2. 付属の固定リングを接続部（ツバ部）にはめ込む。

注意

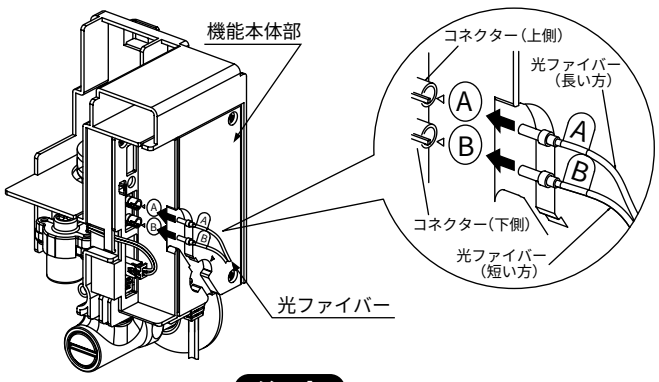
確実にはめ込んでください。
※しっかりはめ込んでいないと漏水や固定リングでケガをする恐れがあります。

確認

かるく機能本体部を上げても、固定リングが外れないこと。

④ 光ファイバーの接続

1. 光ファイバー先端の被水袋を取り外し、光ファイバー先端のA側（長い方）を機能本体部のコネクターA側（上側）に、光ファイバー先端のB側（短い方）を機能本体部のコネクターB側（下側）にそれぞれ差し込む。



注意

●差し込む位置を間違えないように気をつけてください。
※逆に差し込むと感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。
●光ファイバー先端の被水袋を取り外す時、カッターは使用しないでください。
●光ファイバーの先端の傷付き、ホコリ、水、油脂などの付着がないように注意してください。
※感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

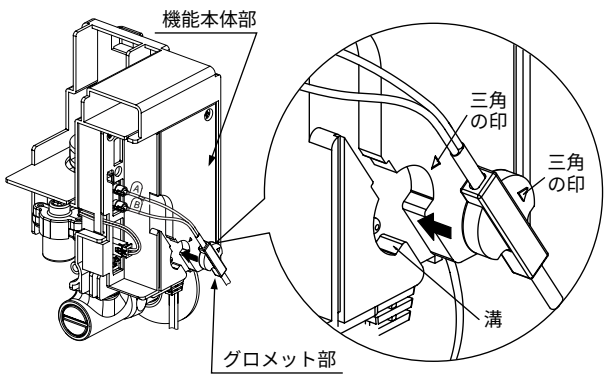
確認

光ファイバーがねじれていないこと。

2. 光ファイバーのグロメット部の三角の印と機能本体部側面の三角の印が向かい合うようにして溝にはめ込む。

注 意

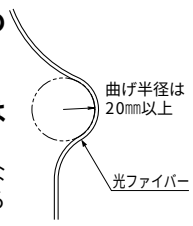
光ファイバーがねじれないように、しっかりはめ込んでください。
※しっかりはめ込まれていないと、フロントケース挿入時に光ファイバーに傷が付き、感知ができなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

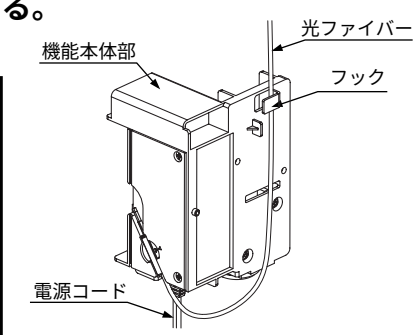


3. 光ファイバーを機能本体部のフックに収める。

注 意

●電源コードはフックに収めないでください。
※故障の原因になります。
●光ファイバーの曲げ半径は20mm以上としてください。
※曲げすぎると感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。



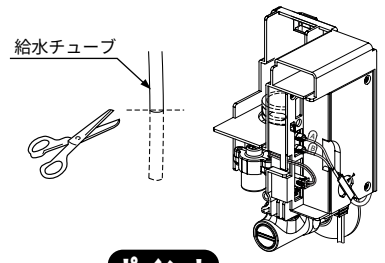


⑤ 給水チューブの接続

1. 給水チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、切断する。

注 意

●給水チューブの取付けには必ず順序を守ってください。
※漏水の原因になります。
●必ず給水チューブの必要な長さを確認してください。
※給水チューブが長すぎると折れ曲がり流量が出なくなる恐れがあります。



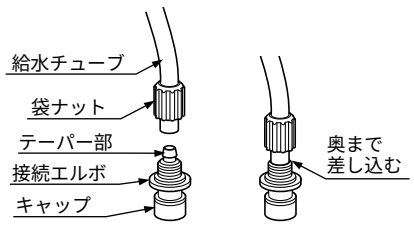
ポイント

給水チューブは水平に切断する。

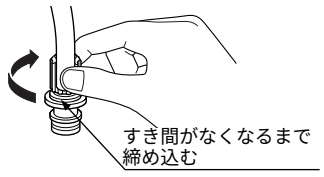
2. 給水チューブに袋ナットを通した後、接続エルボのテーパー部に差し込む。

注 意

給水チューブを接続エルボから取り外す場合、カッターは使用しないでください。
※テーパー部を傷つけ、漏水の原因になります。



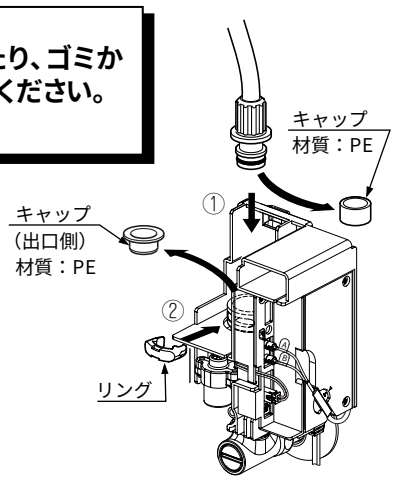
3. 袋ナットを接続エルボに手締めで締め付ける。



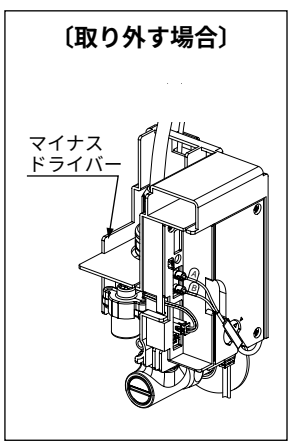
4. 機能本体部の出口側のキャップ、接続エルボのキャップ、リングを取り外し、機能本体部の出口に接続エルボを差し込み、リングで固定する。

注 意

Oリングに傷をつけたり、ゴミかみしないように行ってください。
※漏水の原因になります。



〔取り外す場合〕

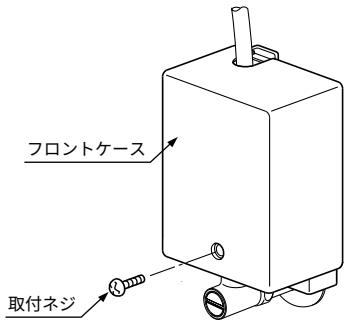


⑥ フロントケースの取付け

フロントケースをはめ込みプラスドライバーで付属の取付ネジを固定する。

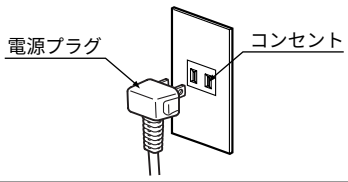
注 意

●光ファイバーをフロントケースで挟み込まないでください。
※感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。
●必ずフロントケースを取り付けてください。
※フロントケースを取り付けていないとホコリが光ファイバーの接続部に浸入し、感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。



⑦ 電源プラグの接続

電源プラグをコンセントに接続する。

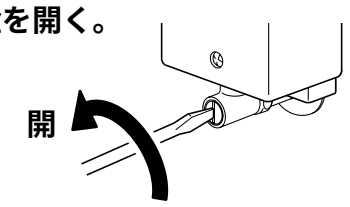


3.施工後の調節

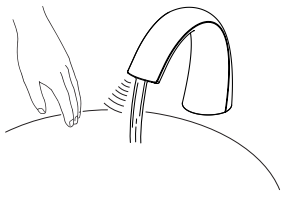
1 通水確認

通水確認を以下の要領で行ってください。

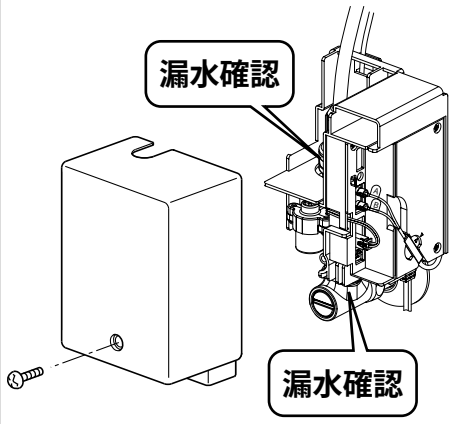
1. 止水栓を開く。



2. 手を差し出し、センサーを感知させ、水がでることを確認する。



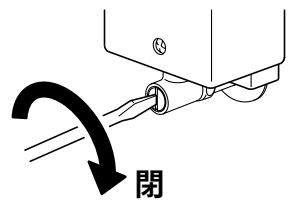
3. 水を止め、接続部から漏水がないことを確認する。



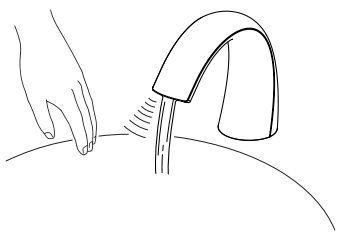
2 ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。

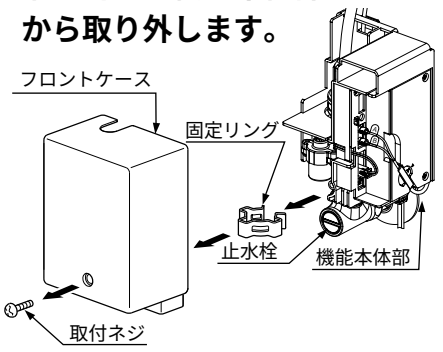
1. 止水栓を閉じる。



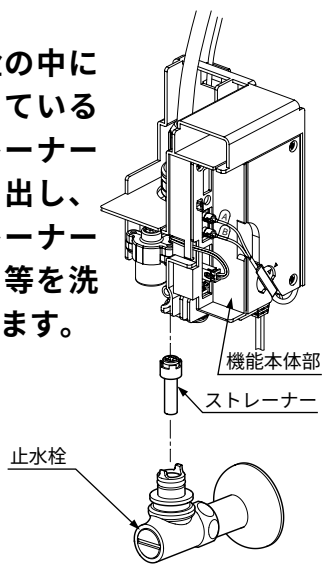
2. 手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをする。



3. フロントケース、固定リングを取り外し、機能本体部を止水栓から取り外します。



4. 止水栓の中に収まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。

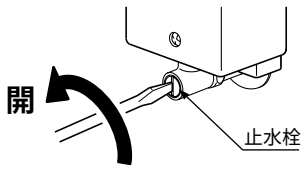


3 流量の調節

1. マイナスドライバーで止水栓を逆時計回りいっぱいに回し全開にする。

ポイント

- 節水のため定流量弁を装着しているので、一定以上の流量(4.8L/分以上)は出ない。
- 流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約12～22秒。



2.

流量が十分な場合

➡ このままご使用可能

流量が少ない場合

➡「4 流量が不足する場合の調節」へ進む

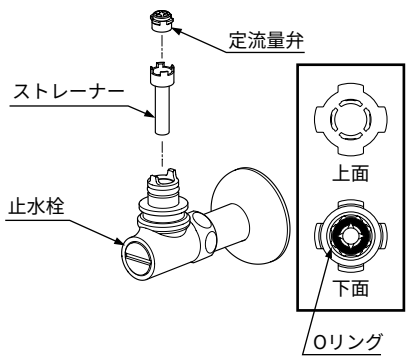
4 流量が不足する場合の調節

低圧の現場や電気温水器との組み合わせで流量が不足する場合は定流量弁を取り外して、流量を調節する必要があります。

1. 止水栓を閉めた後、定流量弁を取り外す。

注 意

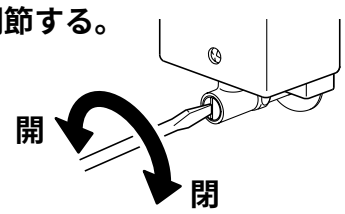
- **定流量弁を取り外した後、必ずストレーナは止水栓に取り付けてください。**
  ※ストレーナーを取り外してしまうとゴミ等が機能本体部内につまり故障の原因になります。
- **定流量弁を取り外した後、再度取り付ける場合は黒いOリングが見える面を下に向けストレーナーに取り付けてください。**
  ※上下を誤って取り付けると、流量が多くなったり、Oリングが外れ、弁に詰まることで止水不良になる恐れがあります。



2. マイナスドライバーで止水栓を回し、流量を調節する。

ポイント

流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約12～22秒。



4.引渡し前の確認

お客さまに引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。
※点検箇所は、下図を参照してください。

現　象	点 検 内 容	点検箇所	処　置
吐水しない	止水栓は開いていますか？	①	止水栓を開く。
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	―	コンセントに電源プラグを差し込む。
	断水中ではありませんか？	―	回復するまでお待ちください。
	停電中ではありませんか？	―	回復するまでお待ちください。
	ストレーナーや泡沫口にゴミ等がつまっていませんか？	③④	ゴミ等を除去する。
	センサー表面が汚れていませんか？	⑤	汚れをふき取る。
	光ファイバーがコネクターにしっかりと差し込まれていますか？	②	光ファイバーをコネクターに差し込む。
	上記の箇所を確認しても吐水しない場合は、止水栓を閉じて、取扱店または㈱INAXメンテナンスまでお問い合わせください。		
流量が少ない	止水栓を全開にしていますか？	①	止水栓を全開にする。
	ストレーナーや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	③④	ゴミ等を除去する。
	水圧が低くないですか？ ※(0.07MPa以下の場合はご使用できません。)	⑥	定流量弁を取り外して流量調節栓に流量の調節を行ってください。
	給水チューブが折れ曲がっていませんか？	⑦	折れ曲がらないよう長さを調節する。
流量が多い	定流量弁が取り外されていませんか？	⑥	定流量弁を正しくセットしてください。
	低圧の現場や電気温水器との組み合わせの場合、定流量弁取外し後、流量を調節しましたか？	①	流量を調節する。
止水しない (勝手に水が出る)	センサーの前に障害物はありませんか？	―	障害物を取り除く。
	センサー表面が汚れていませんか？	⑤	汚れを拭き取る。
	取付可能陶器以外を組み合わせていませんか？	―	取付可能洗面器を組み合わせてください。
	センサー表面に水滴が付着していませんか？	―	水滴を拭き取る
	上記の箇所を確認しても吐水しない場合は、止水栓を閉じて、取扱店または㈱INAXメンテナンスまでお問い合わせください。		
吐水が乱れる	泡沫口が汚れていませんか？	④	ゴミ等を除去する。
吐水口からポタポタ水が落ちる	施工時に配管内のゴミを流しましたか？	③	ストレーナーの掃除を行う。また定流量弁を取り外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細かいゴミを洗い流す。
	泡沫口がしっかり入っていますか？	④	泡沫口をしっかり入れる。
	上記の箇所を確認しても吐水しない場合は、止水栓を閉じて、取扱店または㈱INAXメンテナンスまでお問い合わせください。